

「文月」という言葉は、七夕に歌を送ったり、梅雨が明けた7月の夜風に書物をさらし、湿気を取る風習があったことなどから、名づけられたそうです。



太陽のまぶしい季節がやってきました。皆さん、夏休みの計画はもう立てましたか?夏休みの自由な時間を使って、普段と違う読書を楽しみましょう。図書室ではいろいろな本を用意して、皆さんをお待ちしています。

お知らせ

夏の特別貸し出し開催

貸し出し期間：7/1（火）～7/16（水）
返却日：9/1（月）～9/8（月）
貸し出し冊数：1人5冊まで
※閉室の時は返却BOXに入れてください。

七夕祭り開催中

6/24（火）～7/10（木）図書室にて、七夕祭りを開催中です。あなたも願いごとを書いてみませんか☆
「折り紙なんて、久しぶり」「どんな願いを書いた？」など、色々な声が聞こえてきて、大盛況なイベントになっています。図書室に足を運んでみてください☆

休室のお知らせ

7/17（木）～9/1（月）は、休室します。夏休み明けに、元気な皆さんと会えるのを楽しみにしています。



- *本を借りた人に、短冊を渡します。願いを書いて笹に飾ってください。
- *折り紙は自由に折って飾ってください。
- *笹は殺虫剤処理をしていますので、アレルギーがある人は気をつけてください。

今月の特集

夏休みに読んでみよう

今月は、先生方がお勧めしてくださった本や、作文の書き方の本、自由研究のヒントになる本などを集めて展示します。読書感想文コンクールの課題図書も入荷しています。この機会に読んでみませんか。

全国 読書感想文課題図書

「わたしは食べるのが下手」

天川栄人：著（小峰書店）

会食恐怖症、摂食障害、宗教上の理由からお弁当を持ってきている子、給食が大好きな子、いろいろな事情を抱えた人達が、食べることを考えていくうちに、自分や家族にしっかり向き合ようになります。

共感できるところがたくさんある作品です。あなたも食べることについて一緒に考えてみませんか。

千葉県 読書感想文課題図書

「カムイの大地」

泉田もと：著（岩崎書店）

松浦武四郎は、江戸時代に蝦夷（えぞ）と呼ばれていたのを北海道と名付けた人です。アイヌ語を参考に北海道の土地や川の名前をつけて地理の調査を行いました。当時、迫害されていたアイヌの人達とも先入観なく打ち解け、自然を愛するアイヌの文化に敬意を表しました。

史実をもとにしてはいますが、フィクションの要素もあり、堅苦しくなく読めます。「北海道」とはアイヌ語でどんな意味があるのか、この本を読むとわかります。

全国 読書感想文課題図書

「スラムに水は流れない」

ヴァルシャ・バジャージ：著、村上利佳：訳（あすなろ書房）

ムンバイ（インドの都市）のスラム地区で暮らしているミニ。遠くに見えるホテルの屋上にはプールがあるらしい。しかし、スラムでは水不足が深刻です。毎日水汲みの列に並び、殺菌のために沸かして飲まなければなりません。

格差、貧困、逆境の中、地域の人達や友達と助け合いながら、明るく生きる姿に心を打たれます。

「めんどくさがりなきみのための文章教室」

はやみねかおる：著（飛鳥新社）

文章を書くのが苦手な中学生に、猫のダナイが丁寧にレクチャーしてくれます。対話形式なので、楽しく読み進めることができます。

原稿用紙の使い方、1つのリングから原稿用紙5枚分の文章を書く方法、さらには小説を書く方法までわかりやすく教えてくれます。

何を書いたらいいかわからない人、まずはこの本を開いてみてください。





図書委員のおすすめ本 その2



図書委員の皆さんが素敵なポップを作成してくれました♪夏休みに読んでみませんか！

あの花が咲く丘で
君とまた出会えたら



平和ボケしている
みんなに



親や学校、全てにイライラして不満ばかりの高校生の百合。
ある日、進路を巡って母親とぶつかり家出をし、防空壕跡に逃げ込むが朝目が覚めるとそこは戦時中の日本だった。
そこで百合は初めての恋をする。



汐見夏衛

「赤ずきん、
アラビアンナイトで死体と
出会う。」

作者 青柳碧人

読み慣れている物語を使ったミステリー小説で予想外なトリックが面白いです。

ミステリー小説だけど読みやすくおすすめです。



変な絵 雨穴

「それではこれから、一枚の絵をお見せします」

◎変な絵とは

ウェブライター「雨穴」によるミステリー小説。

◎この本の魅力

何気ない9枚の「絵」に隠された秘密が読んでいくうちに明らかになっていくところにとっても魅力を感じます。謎が解けたとき、鳥肌が立ってしまうような衝撃を受ける、とてもおすすめの小説です。

2-3 小林花



見えない誰かと

瀬尾まいこ



人見知りだった作者が、出会いによってどう変わったか。可愛い後輩や、一緒にいて楽しい仲間。誰かとつながっている喜びを綴ったエッセイ。

あの夏が 飽和する

作者：カンザキオリ

この本は、誰かに頼ること、相談することの大切さがよくわかります。人によって読んだあとの感想に個人差がありますが、読んでみて損はないです。ぜひ読んでみてください。

